

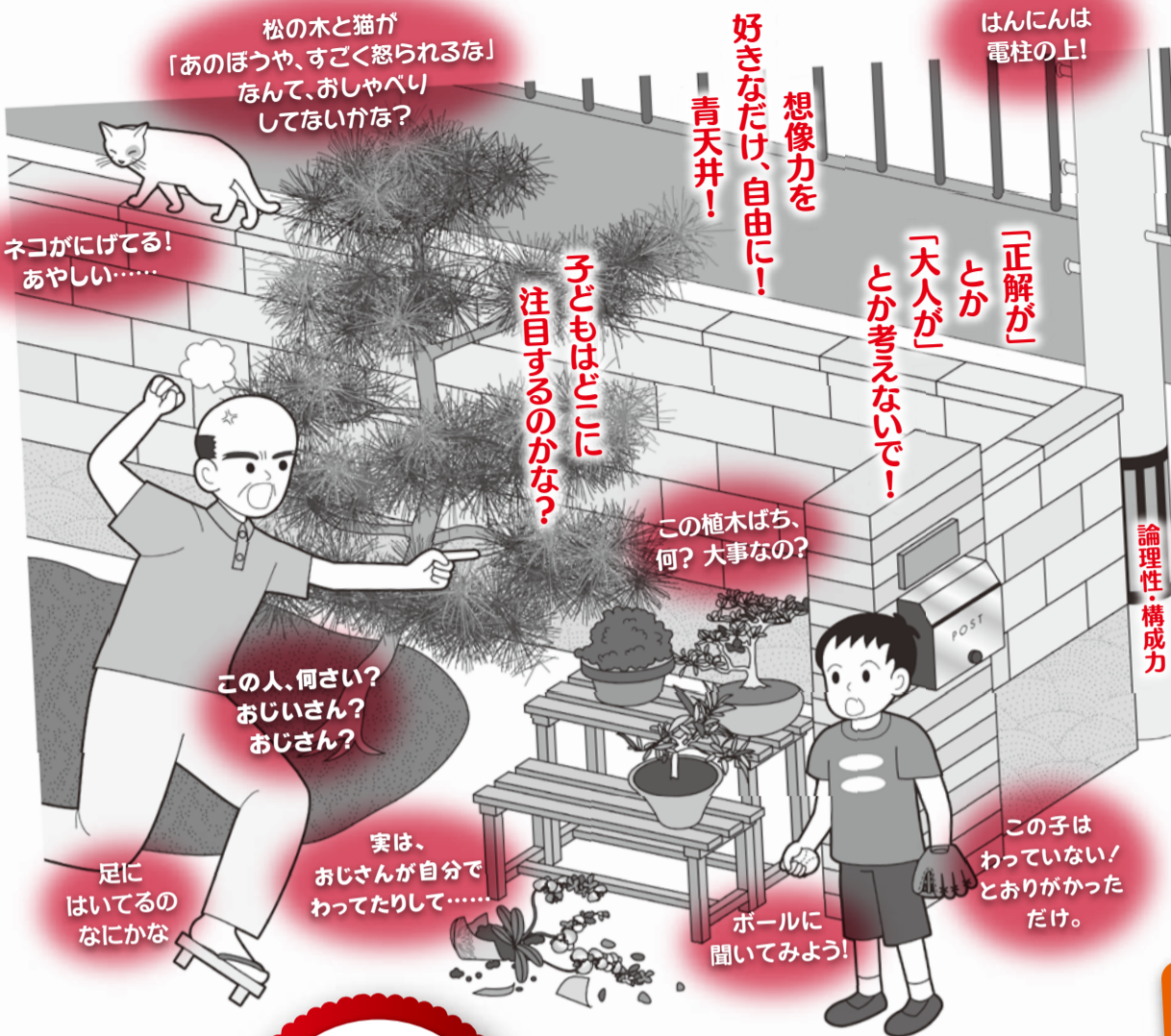
四年 日能研 全国テスト

うちの子に
できるかしら?

このテスト、
何の役に立つの?

これ、国語?

国語(四〇分)



松の木と猫が「あのぼうや、すごく怒られるな」なんて、おしゃべりしてないかな?

はんにんは電柱の上!

好きなだけ、自由に!
青天井!
想像力を

「正解が」
とか
「大人が」
とか考えないで!

子どもは「うん」
注目するのかな?

この植木ばち、何? 大事なの?

ネコがにげてる! あやしい……

この人、何さい? おじいさん? おじさん?

実は、おじさんが自分でわってたりして……

足にはいてるのになかな

ボールに聞いてみよう!

この子はわっていない! とおりがかっただけ。

左の絵を見て、あなたが自由にお話を考えてみましょう。そして、絵にかかれてあることをな

広がるチカラ、夢中力
ファンタジーのチカラ

伝えるチカラ
表現するチカラ
論理性・構成力

感じるチカラ
つながるチカラ
共にいるチカラ

子ども達の
実際の解答例は
日能研ホームページで!

採点できるの?
正解は?

アタマとココロが動くから、
無答率 3.7%
低い!

この問題で
何がハカれるの?

漢字の書き取りが
最初じゃないの?

子どもが わかるテスト。

すぐ簡単に解けるテストで、測ることが出来るものは?

正解は一つ、誰が解いても同じ答えになるテストで測れるものは、「知っている」や「できる」の量です。すなわち、それは、それらを数値化したら、それが「子どものすべり」。

日能研は、子どもの内側に「歩踏み込みたい。未知と出会ったとき、子ども達はいろいろなことを「ココロで感じて、アタマで考えます。そんなアタマ+ココロが動き出すようなテストをつくりたい。子どもが答えを書かない」をなくしたい。だから、子ども達がバックグラウンドストーリーやキャラクター設定の中に飛び込んで、思わず「自分から考えたい」ようになる「うん」工夫をしています。

「知っている」「できる」だけじゃなくて、「感じる」「考える」「探求する」「想像する」「創造する」「表現する」などなど、子ども達が持っているチカラどれも使って取り組んでほしい。だから、答えが一つには定まらない、自分のアタマや「ココロ」の動きと向き合い、言葉にして伝える記述問題を多くしています。

そんなテストから見えてくるのは、数値化できない子どもの内側。未知へのアプローチや考え方のスタイル。「ええっ、そんなところに目を向けていたの?」なんて、大人が思ってもみなかった姿が見えてくる。とても「できる」を確かめるだけのありきたりのテストよりも、子ども

「子どもを知る」は、いままで我が子に渡してきた学びを振り返る。それは、我が子を通じて、「保護者が自分の学びを振り返る」という「こと」でもあります。いまの勉強方法を、「そのまま続ける?」未来を

つくるチカラは育つ? <日能研全国テスト>「これからの学び方」に出会い、リスタートするチャンスです!

「ああ、簡単なテストで「できる」を測って安心しますか?」

「それとも、子どもの学びの「いま」を通して未来を見ますか?」



自分の学びを見つける! 育てる!

小学校2~5年生なら、どなたでも参加できます!

日能研 全国テスト

10月27日

小3 小4 小5

11月4日

小2

参加無料

